



神居地区（清水真一さん圃場より）

特集

ユジノサハリンスク農業交流会

新米・新そばまつり

明日を担う

理事会だより

2013

11

あさがおの情報を発信していきます。どうぞご覧ください！

農産物直売所あさがおのブログ
「あさがおだより」開設！
<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagablog>

あさひかわ ホームページ <http://www.ja-asahikawa.or.jp>

JA共済フリーダイヤル安心サービスのご案内

JA共済

JA業務時間外にご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

24時間365日対応 フリーダイヤル安心サービス

JAの営業時間外（平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時）は総合警備保障（ALSOK）が現場急行します

JA共済事故受付センター

事故等の場合には

ジ コ は ク ミ ア イ

0120-258-931

JA共済サポートセンター

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には

レッカーロードサービスは ク ミ ア イ

0120-063-931

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもつながります。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

安心の5つのサービス

レッカーサービス

ロードサービス

夜間休日現場急行サービス

夜間休日初期対応サービス

休日契約者面談サービス

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

上記以外にも土日・祝日の 事故サービスセンター専用回線で更に安心

平成25年11月1日サービス開始 事故サービスセンター専用回線

土日・祝日午前9時から午後5時まで対応

JAあさひかわ事故サービスセンター専用回線

事故等
の場合には

080-2860-6796

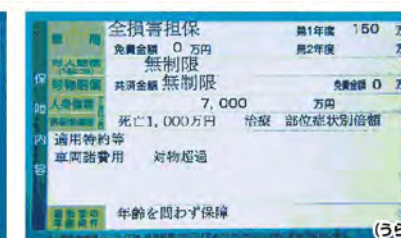
土日・祝日の午前9時から午後5時まで初期対応とアドバイスをを行います。

ドライバー確認カードを携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がついています。



(おもて)



(35)

「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともに持ち合わせてください。



特集

白鳥組合長 ユジノサハリンスクとの 農業交流会に参加して

このたび9月初旬、道北6市によるユジノサハリンスクでの道北物産展にあわせて開催された農業者交流会に市内農協連絡会議のメンバーとして参加させて頂きました。初日から近くて遠い国そのもので、強風により稚内で丸一日足止めとなり氣勢をそがれた感はありませんでしたが、旭川市担当職員の懸命な日程調整のお陰もあり、時間短縮ながら農業セミナーが開催され、訪問の目的を果たすことが出来ました。サハリンのホルソコフ港から上陸し、非常に長い入国審査をすませユジノサハリンスクに向かう山並み、風景は北海道と何ら変わりなく逆にある種の違和感を感じました。

サハリンの農業者関係者との交流会では、日本の農業協同組合組織とその事業というテーマでプレゼンさせて頂きました。同時通訳でどの程度現地の皆さんに理解して頂いたかわかりませんが、また農業協同組合の精神そのものが彼らの育ったり、歩んできた環境の中に存在しているのか、日本人の様な農耕民族のスピリットが理解できるのか定かではありませんでした。ただ、サハリンには活かし切れていない肥沃な大地があり、行政の意気込みと参加者の真剣なまなざし、そして好意的な雰囲気は充分感じることが出来ました。

サハリンは天然ガスをはじめエネルギー資源の開発が今後も期待されており、州都ユジノサハリンスクでは高所得者層も含めますます人口の増加が見込まれ、インフラの整備と共にどのように食糧を供給して行くか喫緊の課題となっております。キョクイチの公設市場開

設の話も進んでおり、今後、旭川の米をはじめとする農産物の輸出も段階的に可能となっていく流れが見えて来ました。それには日本人が決して裏切らない民族であるという信頼関係を築いていかなければなりません。歴史的なわだかまりのある近くて遠い隣国ロシア、世界的な自由貿易の枠組みづくりの急激な流れの中で、今後、人的交流も含め交易の分野でどれ程の可能性を秘めているのか判りませんが、いえることはサハリン州そしてその向こうの大陸にはわれわれの生産する安心安全で豊かな食料を求める消費地が無限に広がっているという事です。



訪問中の旭川市道議会議長と懇談



農業者交流会・農業セミナー



大盛況であった道北物産展

平成25年産

新米・新そばまつり 大盛況の中開催される！

9月21日(土)・22日(日)の2日間、農産物直売所あさがお永山店・江丹別そば処穂の香永山店において、平成25年産「新米・新そばまつり」が開催され、開店と同時に大勢のお客様で賑わった。新米コーナーでは、今年度よりJAあさひかわ産の特別栽培米「ゆめぴりか」ならびに「ななつぼし」を特別価格にて提供した。特に「ゆめ



開店前から多数のお客様にお待ちいただいております



新そば受付コーナー

大好評新米販売コーナー



ご協力いただいた旭川そば同好会の皆様



店内も野外特設テントも新そばを求めるお客様でいっぱい

「ゆめぴりか」の人気の高く、豊富に用意した商品は初日で完売となった。新そばは「江丹別産」を旭川そば同好会の協力で手打ち実演し、熟練の技に由来されたお客様も釘付けとなっていた。かけそばは手打ちのものをその場で調理し、穂の香永山店内ではざるそばを用意。それぞれ新米ゆめぴりかのおにぎりやセットでこちらも特別価格で提供し、2日間トータルで1,300食を完売した。

「皆様のご愛顧により、オープン以来永山店は8年目、神楽店は4年目を迎える事ができました。今後より一層「安全・安心なJAあさひかわ産の農畜産物」を地域の消費者にお届けするアンテナショップとして、他地区からも目標とされるような店舗作りを目指してまいります。」

目次
特集

ユジノサハリンスク 農業交流会	1
新米・新そばまつり	2
明日を担う	5
理事会だより	9

米の初出荷

平成25年産米の出荷は9月3日（火）からはじまりました。天候にも恵まれ上川地区の水稻の作況指数は105

（9月15日（日）現在）となり、昨年に続き豊作の秋を迎えることが出来ました。



総合推進室 TAC 活動状況報告 ii!! TAC

TACメンバーは、6人います。今回は、永山地区担当 角井 誠の活動状況を報告します。

永山地区の主要作物は、米、黒大豆、春小麦、そば、野菜（ホーレン草、みずな、チンゲンサイ、摘み取り春菊、レタス、ミニセルリー、ラディッシュ、丸ざやいんげん）です。

<対象となる担い手に提案するに至った背景…担い手のニーズ>

私は入組してから貯金共済課のLA（渉外担当者）として活動し平成21年度からは永山金融支所の貯金共済課長として支所内の業務に携わりながらLA（渉外担当者）の指導を行って参りました。その中で今年2月の機構改革により新しく総合推進室という部署が新設され、そこに配属、営農関係をほとんど分からない状態でスタートし「とことん会ってコミュニケーション」のキャッチフレーズのように訪問活動を開始しました。訪問地区は貯金共済課時代でも訪問していた永山地区で、組合員の顔は一通り認識していたので、担当部署が変わったという挨拶まわりを中心に、また、春作業がはじまるに従って、元々担当していた共済（トラクター共済）の推進をきっかけとして行って参りました。訪問戸数が145戸あり、月に1回の訪問は厳しいものがありますが、その中で担い手から

①子が後継者として戻ってきて共済加入を考えている。

②もう高齢になってきたから現在所有している農地の売却を考えている。

③農協の資材商品は商系よりも値段が高い。

④営農計画書を有効に活用しているのか。

等、意見要望を伺い情報収集を行って参りました。

<提案内容>

①後継者には今現在加入している他の保険は無いとのこと。JA共済を全般的に説明し、終身・医療の加入。残りの共済は今後

の営農状況をみて加入を検討するとのこと。

②農地売買に関しては、まずその農地を小作している方へ買う意思を確認し、上司の指示を仰ぎながら秋作業が終了したら手続きを進めていくこととなる。

③ホクレンとの交渉を行い、肥料に関しては商系と成分の違いがあり、またホクレンの価格設定を変更することが出来ず金額差を埋めることは出来ないが、農業に関しては効能・成分等の差異の無いジェネリック品を利用することで、商系より安く得ることが出来る。

④現在、営農計画書をクミカン利用者に提出いただいているが、内容をすべて記入している方や一部のみ記入している方など統一性の無い状況にある。それを改善し有効に活用できるものへと営農計画書の見直しを行っている。

<取り組みの成果>

③に関してはジェネリック品の提案を行い使用いただいております。経費も抑えることが出来たと好評をいただいております。

①②④に関しては現在、取り組み中であり組合員・農協双方にとって良い結果となるよう今後も活動して参ります。

新設部署で私自身新しい分野の業務内容となり、提案できるまでの術は無く、今後、知識を身につけ指導・提案できる体制にして参ります。



T とことん、**A** 会って、**C** コミュニケーション!!

農協法公布記念日にあたって ～平成25年11月19日～

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で66年目を迎えました。

戦後の混乱期に食料確保の必要とあわせて農民の自主的立場を確保するため、農村の民主化が最重要課題であった時代背景の中で、農協法が施行されるとともに農協が設立しました。

農協は「農民の農民による農民のための組織」で、相互扶助の精神が脈々と受け継がれ、農協を拠り所としてこれまで幾多の困難な環境変化を乗り越えとともに、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会を築くことをめざして今日に至っています。

農協法は、時代の変化に即して必要な改正がなされておりますが、農協事業・組織運営の基本法として位置づけられ、極めて重要な役割を果たしております。

農協法公布記念日を契機に、農協の社会的意義と役割について改めて組合員・役職員が心に刻み、共通認識を深めることが重要であります。

国連は、協同組合の位置付け・役割を再認識し、協同組合活動の更なる充実強化をはかるべく、平成24年を国際協同組合年（IYC）と定め、世界各国で関連する取り組みが行われております。

協同組合組織の一員としてわたしたちは、農家組合員の営農と生活の安定向上をはかることを第一義として、地域社会全体の発展のため、その役割と機能をより一層発揮することが重要であります。

一方、世界的に食料・環境問題や社会・経済をめぐる多くの情勢変化が起きており、それに伴い、農業やJAをとりまく環境も影響を受けております。

直近では、TPP交渉問題や農業・農協等の規制改革の動きが大きな課題となっておりますが、TPPと規制改革は表裏一体の課題であり、改めて農業・JAの位置づけ並びに役割の重要性について、国民各層の理解を得る努力を行いながら、地域農業・地域社会の安定的発展につながる取り組みを進める必要があります。

とりわけ、TPP交渉については、我々の声に理解を示さず半ば強引に交渉参加がなされるとともに、情報開示が極め

て不十分な中、国民不在のもとで協議が進められておりますが、TPPが聖域なき関税撤廃のみならず、ルール改正や規制撤廃を同時に進める危険な協定であるとの認識に立ち、国会決議や自民党決議の遵守を強く求めていくとともに、不可能である場合は、直ちに交渉から脱退する必要があると。

併せて、わたしたち一人ひとりが国民生活全体に大きく影響する交渉であることを各方面に広く訴え、理解を喚起する活動を粘り強く展開していくことが重要であります。

JAグループ北海道は、昨年開催した第27回JA北海道大会において、組合員の総意のもと「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」を決議しました。

時代の変化とともに農協の組織・事業の在り方についても、必要な見直しを行っていくことが求められますが、そのことは、「ひとりとは万人のために、万人はひとりのために」との協同組合の基本理念を前提に置いた取り組みであることが重要であります。

関係者総力のもとで農業環境の改善に向けた努力を傾注するとともに、若手農業者への農協理念の継承、女性農業者の農協事業への参画等を併せて行いながら、地域農業・JAを担う人材づくりをいかに進めていくかが喫緊の最重要課題であると考えます。

また、JAの対外的な役割並びに責任が高まっている昨今にあつては、必要な自己改革を進めながら、組合員をはじめ地域住民・消費者のニーズに応えうる事業展開とJA事業への結果による競争力強化、健全なJA経営態勢の確立、農業・JAの理解促進に向けた情報発信等を進めていくことが重要であります。

「農」は国のいしずえであり、食は命に直結するものであります。長年にわたり先代が築き上げた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに強固なものにし、後世にしっかりと継承するよう共にかんばろうではありませんか。

今後とも本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。

TPP交渉の現状について

■TPP首脳会合が開催されるが「大筋合意」見送り

TPP(環太平洋連携協定)交渉参加12か国は、10月8日、インドネシアで首脳会合を開き、「年内に妥結するため残された困難な課題の解消に取り組むべきであることに合意した」との首脳声明を採択しましたが、最大の焦点である関税撤廃や知的財産権の扱いなどの難航分野は目立った進展がなく、当初目指していた「大筋合意」を明記することは見送り、参加国は年内に再び閣僚会合を開く予定にしています。

【TPP首脳声明の骨子】

- TPPは妥結に向かっている
- 閣僚と交渉官が交渉を大きく進展させた
- 包括的でバランスの取れた地域協定を年内に妥結するため、残された困難な課題の解決に取り組むべきであることに合意
- TPP協定は包括的で次世代のモデルをつくり上げるものでなければならない
- 深く広範な貿易と投資の自由化により、さまざまな立場の人々が最大限の利益を確保できる
- TPPは将来の貿易協定のモデルであり、アジア太平洋自由貿易圏を構築するというAPEC(アジア太平洋経済協力会議)の目標への有望な道筋

■政府・自民党が重要5農産物の関税撤廃を検討

政府・自民党は、10月11日、TPP交渉の年内妥結に向け、焦点となっている重要5農産物(米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物)を含めた貿易品目の関税見直しについて、5農産物に含まれる調製品、加工品を検討対象とする方針を固め、国内産業への影響が少ない品目の関税を撤廃することが可能か検討を始めました。

【重要5農産物に含まれる調製品、加工品】

- 米：米粉、米ミール、もち、団子、あられ等 24品目
 - 麦：スパゲッティ、マカロニ、ビスケット、小麦粉等 32品目
 - 牛肉：牛タン、ハム、ソーセージ、コンビーフ等 38品目
 - 豚肉：ハム、ソーセージ、ベーコン等 9品目
 - 乳製品：ヨーグルト、アイスクリーム等 31品目
 - 甘味資源作物：キャンディー類、キャラメル、チョコレート、チューインガム等 89品目
- ※調製品と加工品の統一の定義はなく業界などで異なるため品目数は参考数字

■今後について

安倍首相はTPP交渉の年内妥結に意欲を示しており、関税撤廃協議をめぐる政府・自民党が重要5農産物のうち一部品目での関税撤廃の可能性を検討し始めていますが、自民党と国会の決議では重要5農産物などを守るとしており、その決議を貫くよう、粘り強く運動していかなければなりません。

JAあさひかわ生産組織連絡協議会交流会開催

8月20日(火)、江丹別町のパークランド嵐山において、JAあさひかわ生産組織連絡協議会の交流会が開催された。

この交流会は、多種多様な農畜産物を扱う生産組織が一堂に会し、地区や作付品目を越えて交流を深めることを



目的に、平成24年度より開催されている。

当日は不安定な天候ながらも、無事予定していたパークゴルフを実施。続いて行われたバーベキュー時に折り悪く一時雨風にみまわれたが、テントを支え一致団結、交流会は盛況のうちに終了となった。



湯本賢太郎さんは、石川県の大学を卒業後、東京の製造業へ就職。その年に父 陽二さんが亡くなり、就職後1年を待たずに会社を辞め就農することとなりました。

就農した時には、農業についてほとんど素人でしたが、北野地区には、同級生、また同世代の就農者も多く、地域の農家の支えもあり、母 潤子さんとともになんとか経営をしていくことができたとのことでした。経営規模については、就農時には、総面積で7haほどでしたが、現在は、水稲約8.6ha、そば7.1haで合計16haを経営するなど精力的に面積を拡大し、地域のオペレーター組織やヘリ防除の組織へも加盟しております。

経営で苦勞している点を伺うと、水稲経営面積のうち、約4haは用水がなく、ため池も年間まかなえるだけの水を貯蓄できないため、水をくみ上げたりなど、大変苦勞されているとのことでした。ただ、この苦勞については、今後、国営の再編整備事業により、水田の大区画化、パイプラインの整備により解消されるとのことでした。

今後については、「将来的には、水稲で20haくらいまでは作りたい。そのために、現在、乾燥機の増設等している。また、TPPにより今後の農業政策が見えないため、状況に応じて、野菜の作付け等についても考えて行きたい」と精力的に経営の拡大をしていきたいと話されていました。

家族構成

妻・千賀子さん
長女・愛衣さん
次女・喜衣さん
三女・美衣さん

営農形態

水稲
畑作

明日
★を担う。

Vol.8

湯本 賢太郎 さん
昭和57年生まれ 北野地区3区

平成25年度「農婚塾inあさひかわ」終了!

平成25年度第2回目の「農婚塾inあさひかわ」が、8月24日(土)・25日(日)の2日間開催された。あいにくの天候で、前日からの雨もありトウモロコシの収穫体験は出来なかったものの、搾乳体験、ピザ作り体験などさまざまな体験を通し、予定した2日間の行程を楽しみ雰囲気の中で全て行うことができた。



2日目の昼食後、神楽支所においてフィーリング調査。残念ながら今回の農婚塾ではカップルになった方はおられなかった。

フィーリング調査の結果発表後、神田専務の閉講の挨拶があり、無事に平成25年度農婚塾を終了した。

参加いただきました男女16名の皆さん、大変ありがとうございました

農産物直売所あさがお、移動市を開催

10月11日(金)、上川総合振興局前で、大原会長を始めとするあさがお運営協議会員5名により、移動市が行われた。

この移動市は、上川総合振興局で毎月行われている大雪カムイミタラホールコンサートに併せ、地場産品PR活動の一環として上川総合振興局協力のもと行われた。

あさがおで販売している、野菜や果物、加工品からお米等の販売を行い、当日はあいにくの天候ではあったものの、コンサート後には多くの方が買い物に訪れた。最終的には150名以上の来客数となり、人気の野菜は、追加仕入れを行うなど大盛況のうちに終了した。



新入職員 農業実習

今年度入組した9名の新入職員を対象に農業実習を実施した。研修期間は1週間で、農協職員として農業の大切さや苦労を身をもって経験することを目的に実施しているものである。

各地区の組合員さん宅において実際に農産物の収穫作業等の農作業を体験し、一緒に汗を流し労働した。

実習先等については以下の通り。

氏名	所属部署	実習先(敬称略) 組合員氏名 地区
① 安原 尚希	管理部付 旭川協同総業株式会社出向	千代 圭 永山地区
② 永沼 拓也	経済部営農企画課企画外郭組織担当係	廣瀬 康行 神居地区
③ 小林英里果	旭正金融支所貯金共済課係	笠井 寿敏 旭正地区
④ 早坂 明寛	豊岡金融支所貯金共済課係	村田 秀幸 旭正地区
⑤ 南澤 詩織	旭川中央金融支所貯金共済課共済担当係	中西 新一 旭川中央地区
⑥ 高橋 結花	旭川中央金融支所貯金共済課係	高野 幸一 旭川中央地区
⑦ 佐藤 駿介	神楽金融支所貯金共済課係	盛永 武彦 旭川中央地区
⑧ 久保 賢太	神居給油所係	湯浅 誠 旭川中央地区
⑨ 佐藤 睦季	北野金融支所貯金共済課係	鈴木 英博 北野地区



職員の異動

● 退職	日付	職 責	氏 名	所 属
	8.31	係	山田彩也花	経済部営農企画課係(農産物直売所担当)
● 採用	日付	職 責	氏 名	辞 令
	10.1	準職員	中村さや花	経済部営農企画課係農産物直売所永山店

北野支所年金友の会、秋の保養

北野支所年金友の会(会長・中川 正夫、会員105名)は、10月17日(木)から1泊2日の日程で24名の参加者により、ウトロ知床プリンスホテル風なみ季において秋の保養を行った。

当日は、紅葉を眺めながらバスで移動。途中、道の駅を経由し網走の流水硝子館で硝子製作体験を楽しみウトロ温泉に到着。温泉に浸かり恒例のカラオケ大会やビンゴゲームを楽しんだ。

翌日には知床五湖を散策し、道の駅うとろ・シリエスクで海産物のお買物を楽しみ、無事、帰路に着いた。



9月14日(土)より16日(月)までの3日間、旭川市と道北各地域の味覚・農畜産物などを一堂に集めた道内最大級の食の祭典「食べマルシェ2013」が開催され、常磐公園会場マルシェ広場に、当JAからAコープ江丹別店、女性部中央支所、特別栽培米部会が出店し、それぞれ訪れたお客様に商品の説明や試食などを提供しアピールした。

Aコープでは、江丹別産そば粉やトマトジュースを含めた加工品などを販売。女性部は、例年好評の手作りヘチマ水の販売を行った。

特別栽培米部会は、新米の予約受付を行い、JAあさひかわ産のお米のPRを実施した。

あいにくの悪天候の中、多忙な秋の収穫期にもかかわらず参加していただいた皆様、大変ご苦労様でした。

大学・短大・専門学校生大歓迎 JAグループ職員・社員養成学校

JAカレッジ

●60名 ●1カ年、全寮制 ●高校卒(見込)、21歳未満
●大学、短大・専門学校卒(見込)、24歳未満
●試験日:12月10日・11日・12日 ●願書受付:9月9日~11月11日

男女共学
JA、JA関連会社へ就職

一般財団法人
北海道農業協同組合学校

お問い合わせ 資料請求

〒069-0834 江別市文京台東町43-1 (JAカレッジ) ☎ 0120-918-417 JAカレッジ検索

理事|会|だより

第13回理事会 平成25年8月29日(木)

- 協議事項**
1. 第1四半期定期監事監査の回答について
 2. 不祥事再発防止策実践状況について
 3. 平成25年度7月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
 4. 大口貸付について
 5. 固定資産の処分について
 6. 理事に対する貸付について
 7. 平成25年度農地の時価評価額について
 8. 平成25年度畜産経営力向上緊急支援リース事業(国)に係る転貸貸付について
 9. 固定資産取得に係る借入金について
 10. 平成25年度米集荷方針及び集荷体制について
 11. 組合員の持分の譲渡について
 12. 規程類の一部変更について
 13. 外部出資の減口について

- 報告事項**
1. 内部監査の実施報告について
 2. 地区内営農状況について
 3. 平成24年度産米追加概算払いについて
 4. 地産地消イベント等の開催について
 5. 規程類の一部変更について
 6. 組合員の加入及び脱退の状況について
 7. 系統連合会の出資配当及び事業割戻状況について
 8. 系統外預金状況について
 9. 平成25年度第3四半期余裕金運用計画額および運用方針について
 10. 子法人等7月末事業実績について
 11. 総合推進室活動状況報告について
 12. 人事異動について
 13. その他

第14回理事会 平成25年9月27日(金)

- 協議事項**
1. 平成25年度8月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
 2. 不祥事再発防止策実践状況について
 3. ディスクローチャー誌(半期開示)について
 4. 理事に対する貸付について
 5. 規程類の一部変更について
 6. 寒冷地手当の支給について
 7. 東光支所の入札結果及び売却について

- 報告事項**
1. 平成25年度 第2・四半期監査の実施報告について
 2. 内部監査の実施報告について
 3. 経営定期点検実施報告について
 4. 競売執行による債権充当処理について
 5. 地区内営農状況について
 6. 平成25年度産米の出荷状況について
 7. 鷹栖振興公社「胡瓜共選事業」JA業務移管依頼について
 8. 組合員の加入及び脱退の状況について
 9. 総合推進室活動状況報告について
 10. 旭川市及び鷹栖町に対する平成26年度農業予算に関する要望について
 11. その他

JAあさひかわ (平成25年9月末実績)	正組合員	2,237 名
	准組合員	27,128 名
	合 計	29,365 名
概要	出 資 金 残 高	2,134 百万円
	販 売 取 扱 高	2,717 百万円
	生産資材供給高	1,143 百万円
	給油所供給高	1,316 百万円
	生活供給高	124 百万円
	貯 金 残 高	95,122 百万円
	融 資 残 高	15,336 百万円
	長期共済保有高	1,996 億円

おくやみ 読んで故人のご冥福を お祈り申し上げます。	8/4	畠山 キクさん	神居地区雨粉・本町農事組合
	8/8	江向 新一さん	神居地区西丘農事組合
	8/8	末永 和子さん	永山地区その他農事組合
	8/16	若林ハルノさん	永山地区11区農事組合
	8/23	前畑 藤子さん	永山地区7区農事組合
	8/26	川口 静子さん	旭正地区東部農事組合
	9/4	森山 敏さん	旭川中央地区西御料地1区農事組合
	9/27	大崎 庄松さん	旭正地区旭正4農事組合
	9/28	小西キクエさん	旭正地区旭正2農事組合